

アンケート結果（抜粋）

基本方針 1：健康で心豊かにいきいきと過ごせるように ～ 健康づくり、介護予防及び自立支援の推進 ～

【基本施策 1】健康づくり、介護予防・フレイル対策の推進

事業方針		細事業
(1)	健康づくりの推進	①生活習慣病予防対策 ②食育の推進 ③特定健康診査、特定保健指導 ④がん予防 ⑤歯・口の健康 ⑥予防接種の実施 ⑦スポーツ活動の推進
(2)	介護予防・フレイル対策の推進	①介護予防・生活支援サービスの充実 ②介護予防把握事業 ③介護予防普及啓発事業 ④地域介護予防活動支援事業 ⑤地域リハビリテーション活動支援事業

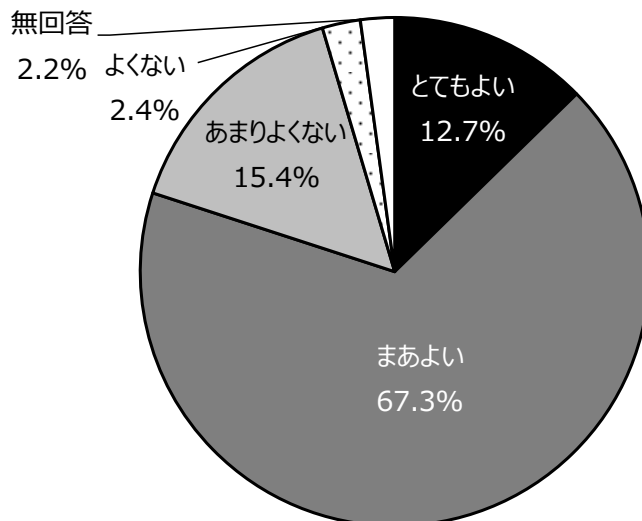
関連するアンケート項目

ニーズ調査より

問14. 健康、介護の必要性についてうかがいます。（指定があるもの以外は、ひとつだけ○）

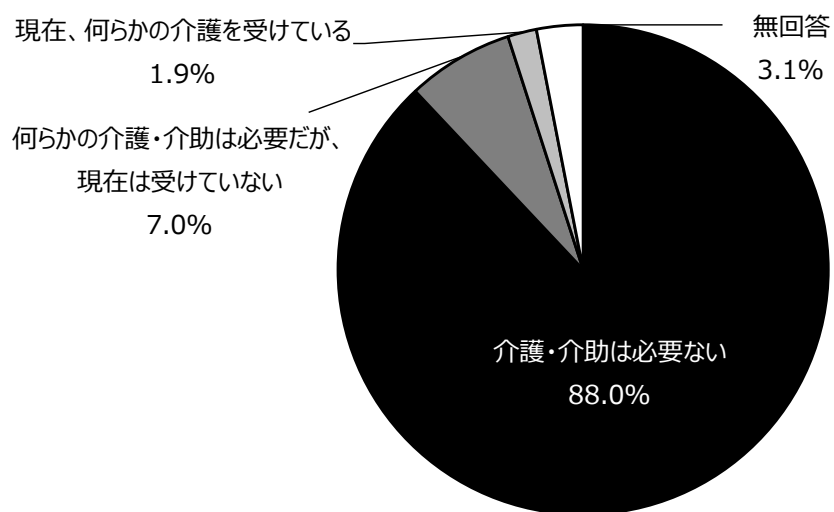
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

主観的健康感は、「とてもよい」（12.7%）と「まあよい」（67.3%）を合わせた『よい』は80.0%となっています。



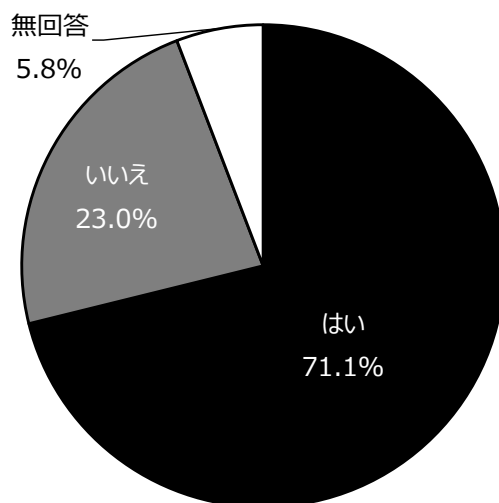
(8) あなたは普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

普段の生活における介護・介助の必要性は「介護・介助は必要ない」が 88.0%です。



問27. 健康診査や人間ドックを毎年受診していますか。(ひとつだけ○)

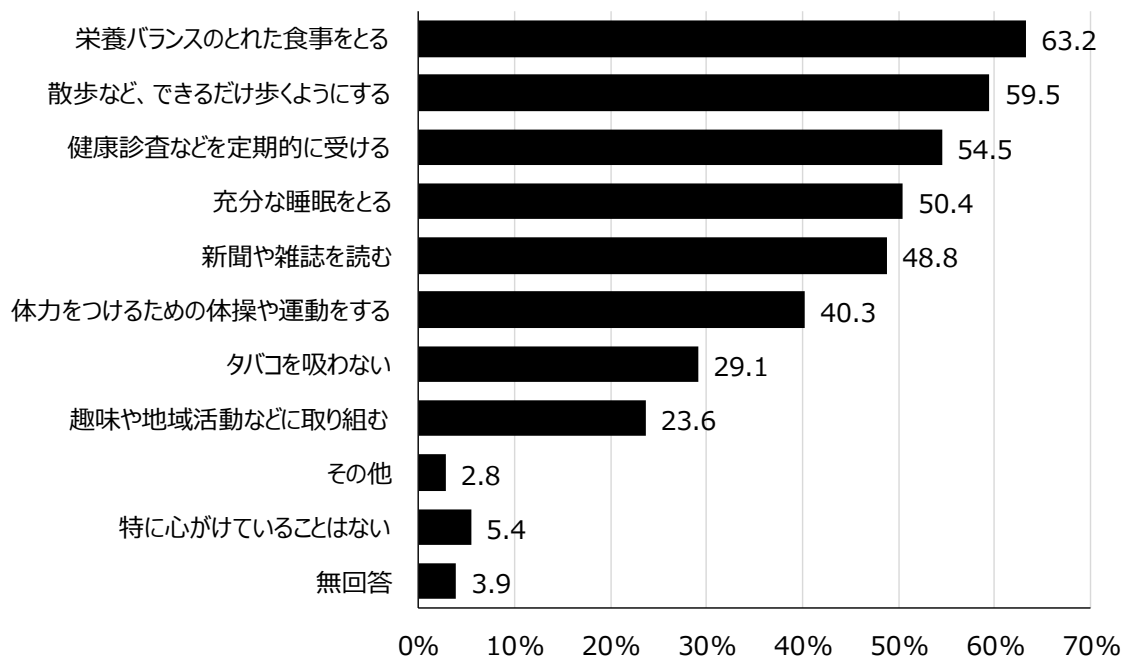
健康診査や人間ドックを毎年受診している割合は7割を超えます。



問15. あなたは、将来、介護を必要としない健康な生活が送れるようにするために、心がけていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

将来、介護を必要としないために心がけていることは、「栄養バランスのとれた食事をとる」が 63.2%、「散歩など、できるだけ歩くようにする」が 59.5%、「健康診査などを定期的に受ける」が 54.5%、「十分な睡眠をとる」が 50.4%と 5 割以上となっています。

一方、「きさらづ筋力アップ体操」など介護予防のための場へ週 1 回以上参加している割合は 3.2%です。



問12. 地域での活動についてうかがいます。（指定があるもの以外は、ひとつだけ○）

(1) 会・グループへの参加頻度

	回答者数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	参加している
ボランティアのグループ	2,682	0.6	1.0	1.3	4.2	5.7	62.9	24.3	12.8
スポーツ関係のグループやクラブ	2,682	2.5	5.8	3.9	3.2	3.2	58.3	23.1	18.6
趣味関係のグループ	2,682	1.5	4.1	4.7	10.9	5.0	52.7	21.2	26.1
学習・教養サークル	2,682	0.2	0.7	1.3	3.3	2.8	65.6	26.1	8.3
介護予防のための通いの場	2,682	0.4	0.8	2.0	1.2	0.6	69.2	25.8	5.0
老人（シニア）クラブ	2,682	0.4	0.4	0.2	2.2	1.6	69.5	25.7	4.8
町内会・自治会	2,682	0.3	0.7	0.7	6.6	21.8	47.5	22.4	30.1
収入のある仕事	2,682	10.7	5.1	0.7	1.8	2.8	55.4	23.5	21.0

※『参加している』は「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計

8期 施策体系への反映について

食事や運動など、自身で介護予防に取り組んでいる方の割合は高くなっており、主観的健康感も高い割合となっております。健康診査の受診率の向上とその後のフォローアップなど、生活習慣病予防対策、特定健康診査、特定保健指導を推進し、その他の健康づくりの充実を引き続き推進します。

一方、会・グループへの参加頻度が低い割合となっているため、高齢者自身が自分に最も適した支援・サービスを自ら選択し、身体の機能を維持向上し続けられるよう、介護予防に関する知識の普及・啓発や地域における自主的な介護予防に資する活動の育成・支援を引き続き推進します。

【基本施策2】地域における自立した日常生活の支援

事業方針		細事業
(1)	生きがいつくりの支援	①シニアクラブへの支援 ②高齢者生きがい対策支援事業 ③老人福祉センターの管理・運営
(2)	社会参加の拡充	①木更津市シルバー人材センターへの支援 ②介護支援ボランティア事業 ③再就職支援セミナー等の開催 ④シニア世代を対象とする仕事説明会の開催

関連するアンケート項目

ニーズ調査より

問11. 毎日の生活についてうかがいます。(指定があるもの以外は、ひとつだけ○)

(21) 趣味はありますか。

(22) 生きがいはありますか。

趣味がある割合は76%、生きがいがある割合は62.8%です。

			全体	男性		女性	
				65～74歳	75歳以上	65～74歳	75歳以上
回答者数			2,662	1,432	608	696	598
判定	問11(17)	友人の家を訪ねていますか。(「はい」)	56.8	50.5	50.0	65.1	62.0
	問11(18)	家族や友人の相談にのっていますか。(「はい」)	78.5	74.9	70.9	87.8	79.5
	問11(19)	病人を見舞うことができますか。(「はい」)	92.5	93.6	91.8	94.8	89.9
	問11(20)	若い人に自分から話しかけることがありますか。(「はい」)	77.6	76.3	69.9	84.8	78.2
関連	問11(21)	趣味はありますか。(「趣味あり」)	76.0	75.8	73.3	79.0	74.6
	問11(22)	生きがいはありますか。(「生きがいあり」)	62.8	59.5	54.9	70.9	64.6

問12. 地域での活動についてうかがいます。(指定があるもの以外は、ひとつだけ○)

(1) 会・グループへの参加頻度

週1回以上のスポーツ関係グループへの参加率は12.2%、趣味関係のグループへは10.3%、学習・教養サークルへは2.2%となっています。

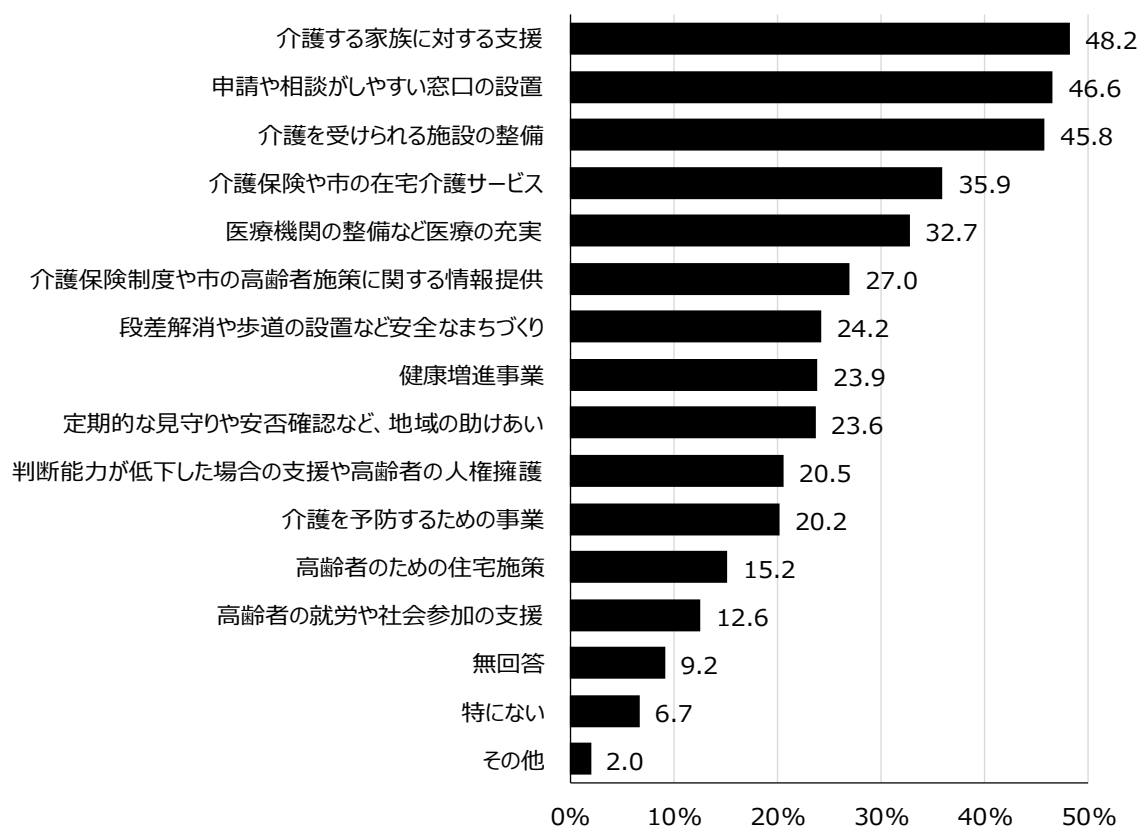
会・グループ等へ参加している割合は、「町内会・自治会」30.1%、「趣味関係のグループ」26.1%、「収入のある仕事」21.0%の順です。

	回答者数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	参加している
ボランティアのグループ	2,682	0.6	1.0	1.3	4.2	5.7	62.9	24.3	12.8
スポーツ関係のグループやクラブ	2,682	2.5	5.8	3.9	3.2	3.2	58.3	23.1	18.6
趣味関係のグループ	2,682	1.5	4.1	4.7	10.9	5.0	52.7	21.2	26.1
学習・教養サークル	2,682	0.2	0.7	1.3	3.3	2.8	65.6	26.1	8.3
介護予防のための通いの場	2,682	0.4	0.8	2.0	1.2	0.6	69.2	25.8	5.0
老人(シニア)クラブ	2,682	0.4	0.4	0.2	2.2	1.6	69.5	25.7	4.8
町内会・自治会	2,682	0.3	0.7	0.7	6.6	21.8	47.5	22.4	30.1
収入のある仕事	2,682	10.7	5.1	0.7	1.8	2.8	55.4	23.5	21.0

※『参加している』は「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計

問39. あなたは、木更津市の高齢者福祉施策について、今後充実してほしいと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

高齢者の就労や社会参加の支援を今後充実してほしいと思う割合は 12.6%です。



8期 施策体系への反映について

趣味・生きがいがある人は半数以上を占めますが、趣味・生きがいは、生活の質（QOL）向上において重要な要素となるため、引き続き、趣味・生きがいを創出する機会の提供を推進します。

また、65歳を超えても就労を希望する割合も一定数おり、就労や社会参加支援の充実が必であるため引き続き就労支援事業を推進します。

基本方針２：住み慣れた地域で安心して暮らせるように ～ 地域や関係者が連携した総合的な支援 ～

【基本施策１】総合的な生活支援、医療・介護等の連携の推進

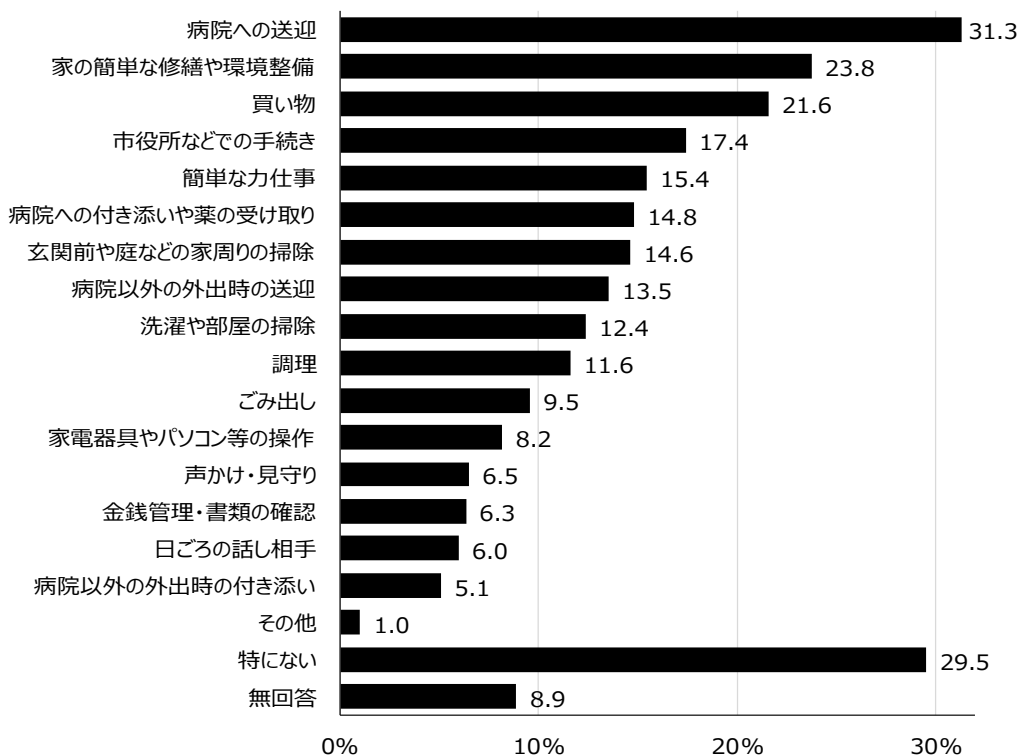
事業方針		細事業
(1)	地域包括支援センターの機能強化	①地域包括支援センターの機能強化
(2)	地域ケア会議の推進	①地域ケア会議の推進
(3)	在宅医療・介護連携の推進	①在宅医療・介護連携推進協議会の運営
(4)	生活支援サービスの推進	①生活支援体制整備事業
(5)	認知症予防・ケアの推進	①認知症ケアバスの更新・普及 ②認知症初期集中支援チームの推進 ③認知症地域支援推進員の配置による相談支援体制の強化 ④認知症サポーターの養成 ⑤認知症サポーターのステップアップ研修

関連するアンケート項目

ニーズ調査より

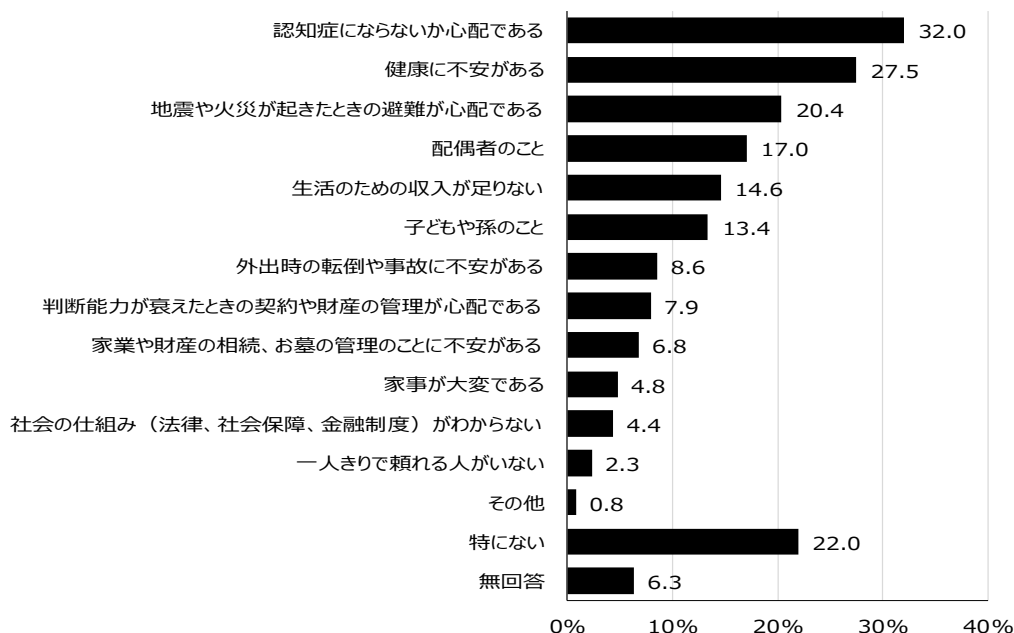
問21. あなたは、普段の生活の中で将来手助けが必要だと思うこと（または手助けしてほしいこと）は何かありますか。（あてはまるものすべてに○）

将来手助けが必要または手助けしてほしいことは、「病院への送迎」が 31.3%、「家の簡単な修繕や環境整備」が 23.8%、「買い物」が 21.6%と高くなっています。

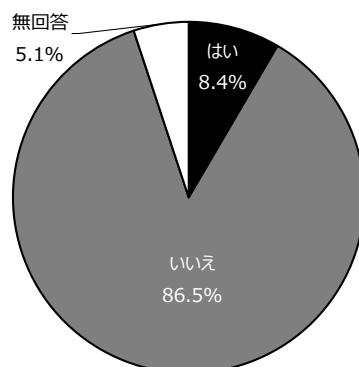


問20. 日常生活での不安、悩み、心配ごとがありますか。それはどのようなことですか。(主なもの3つまで○)

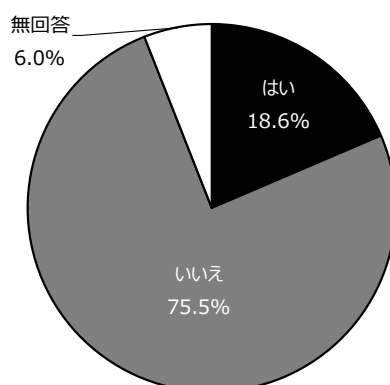
- ・日常生活での不安、悩み、心配ごととして「認知症にならないか心配である」は32.0%です。
- ・認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の割合は8.4%です。
- ・認知症に関する相談窓口を知っている割合は18.6%です。



問30. あなたは、認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(ひとつだけ○)



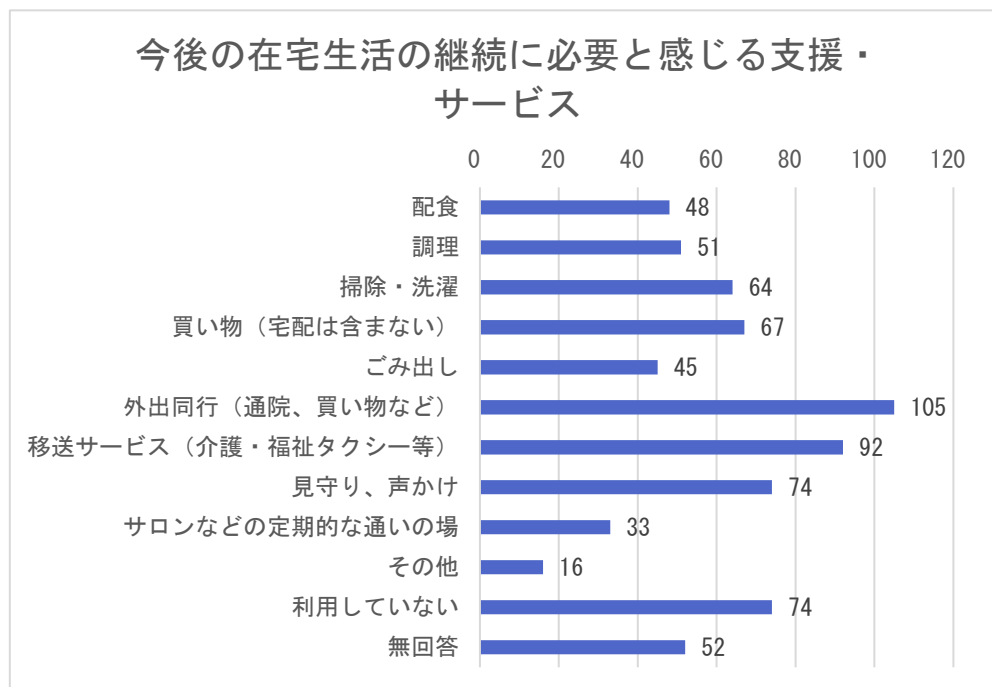
問31. あなたは、認知症に関する相談窓口を知っていますか。(ひとつだけ○)



在宅介護実態調査より

問 9. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用していて、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む（※））は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

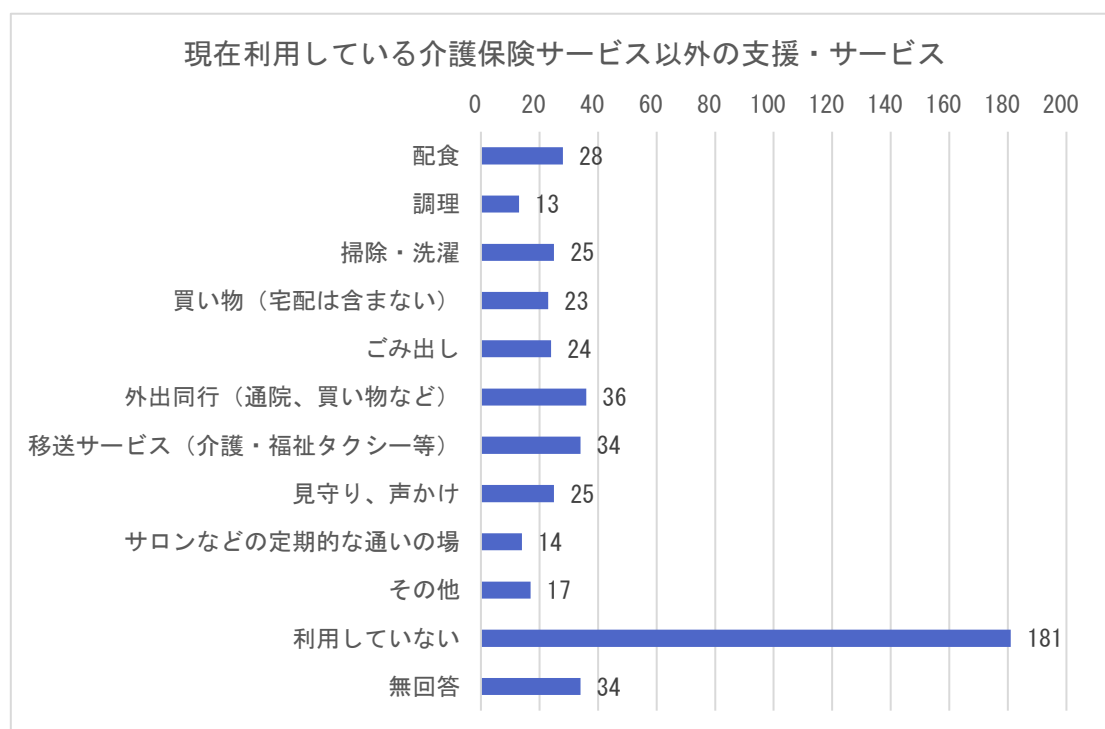
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスとして、「外出同行（通院、買い物など）」31.5%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.6%、「見守り、声かけ」が22.2%と高くなっています。



問 8. 現在、利用している「介護保険サービス以外（※）」の支援・サービスは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

現在、利用している介護保険サービス以外の支援・サービスで「利用していない」は54.4%と半数を超えます。



8期 施策体系への反映について

「将来手助けしてほしいこと」は、外出同行や移送サービスなどの意見が多く、日常生活支援を充実させる必要があることから、様々な団体、事業者、ボランティア等地域によるサービスの提供を推進します。また、高齢者の身近な相談窓口として地域包括支援センターの機能強化をより推進していきます。

認知症施策推進大綱を踏まえ「予防」と「共生」の観点から、普及啓発・本人発信支援、地域住民の協力による見守り支援など、これまで以上に多角的に取り組み、認知症予防・ケア事業を推進します。また、介護者が一人で悩み抱え込まず気軽に相談できるよう、認知症に関する相談窓口の認知度向上に努めます。

【基本施策2】地域支えあい社会の強化

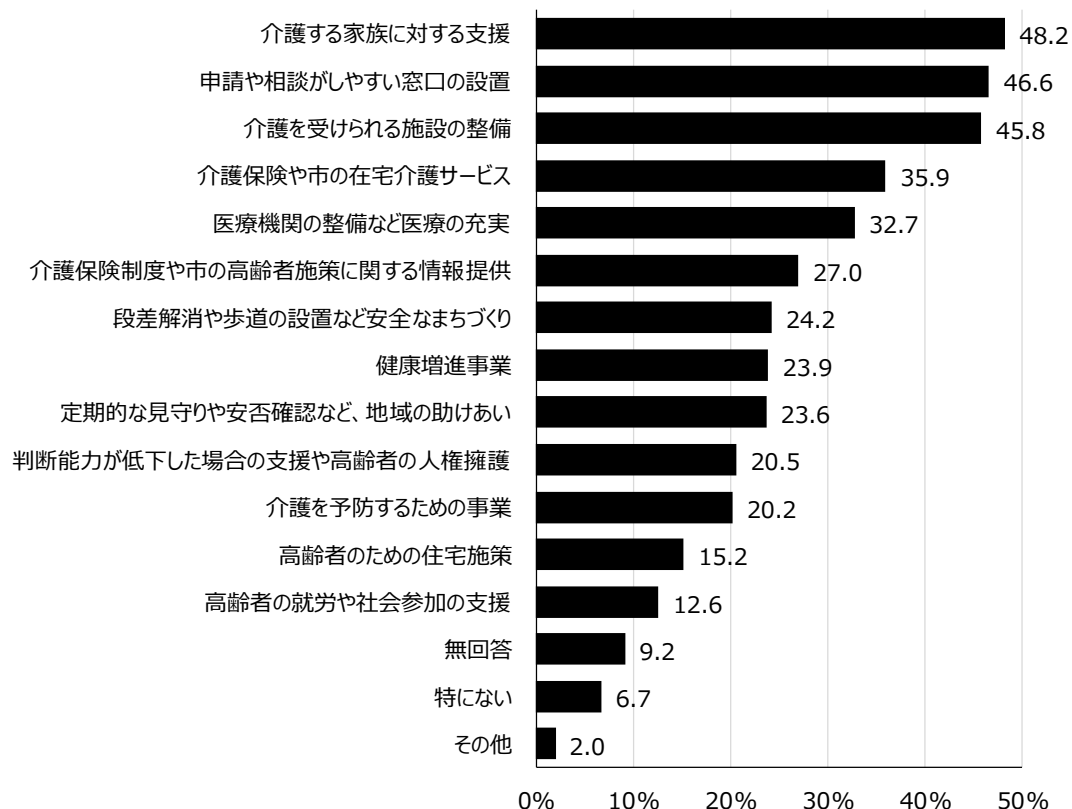
事業方針		事業概要
(1)	見守りネットワークの充実	①高齢者見守りネットワーク事業 ②地域高齢者見守り事業 ③地域高齢者把握事業
(2)	権利擁護の充実	①きさらび成年後見支援センターとの連携 ②市長による後見等開始の審判の申立事務 ③成年後見制度の利用に係る経費に対する助成 ④市民後見人の養成 ⑤地域連携ネットワークの構築、中核機関の設置 ⑥成年後見制度の利用促進 ⑦高齢者虐待の早期発見・相談体制の強化 ⑧要保護者の緊急一時保護施設の体制整備
(3)	防災・安全対策の強化	①避難行動要支援者登録の推進 ②高齢者の避難所の確保

関連するアンケート項目

ニーズ調査より

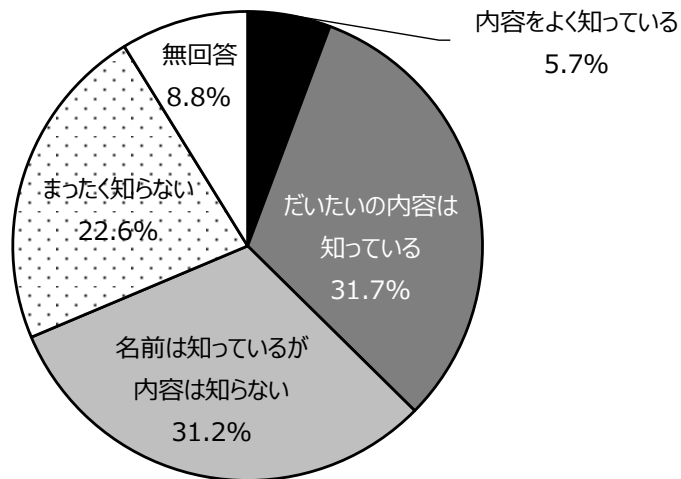
問39. あなたは、木更津市の高齢者福祉施策について、今後充実してほしいと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

定期的な見守りや安否確認など、地域の助けあいを今後充実してほしいと思う割合は23.6%です。
判断能力が低下した場合の支援や高齢者の人権擁護を今後充実してほしいと思う割合は20.5%です。



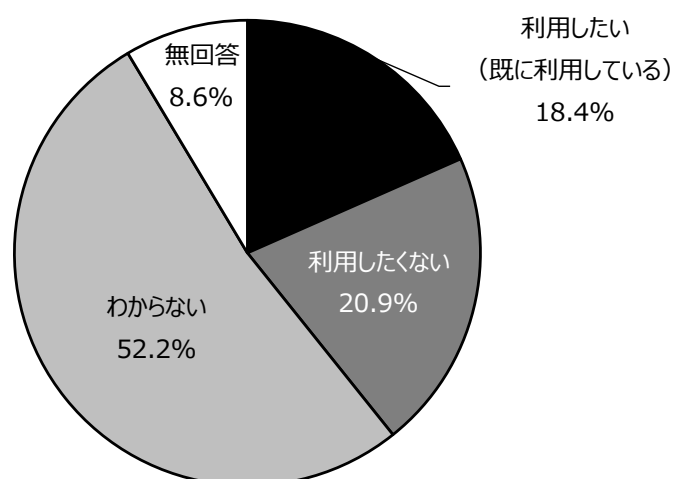
問37. 成年後見制度を知っていますか。(ひとつだけ○)

成年後見制度の「内容をよく知っている」のは5.7%、「だいたいの内容は知っている」のは31.7%です。



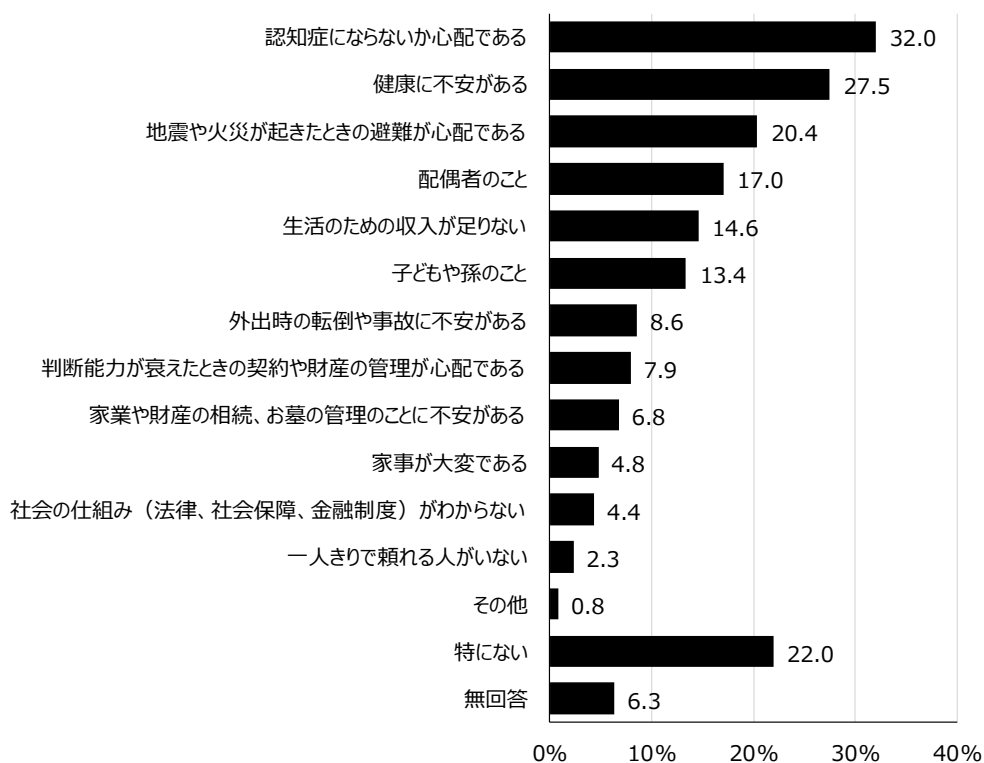
問38. あなたやご家族が認知症などによって物事を判断する能力が十分ではなくなった場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(ひとつだけ○)

自身や家族が認知症などによって物事を判断する能力が十分ではなくなった場合、成年後見制度を「利用したい（既に利用している）」割合は18.4%です。



問20. 日常生活での不安、悩み、心配ごとがありますか。それはどのようなことですか。(主なものを3つまで○)

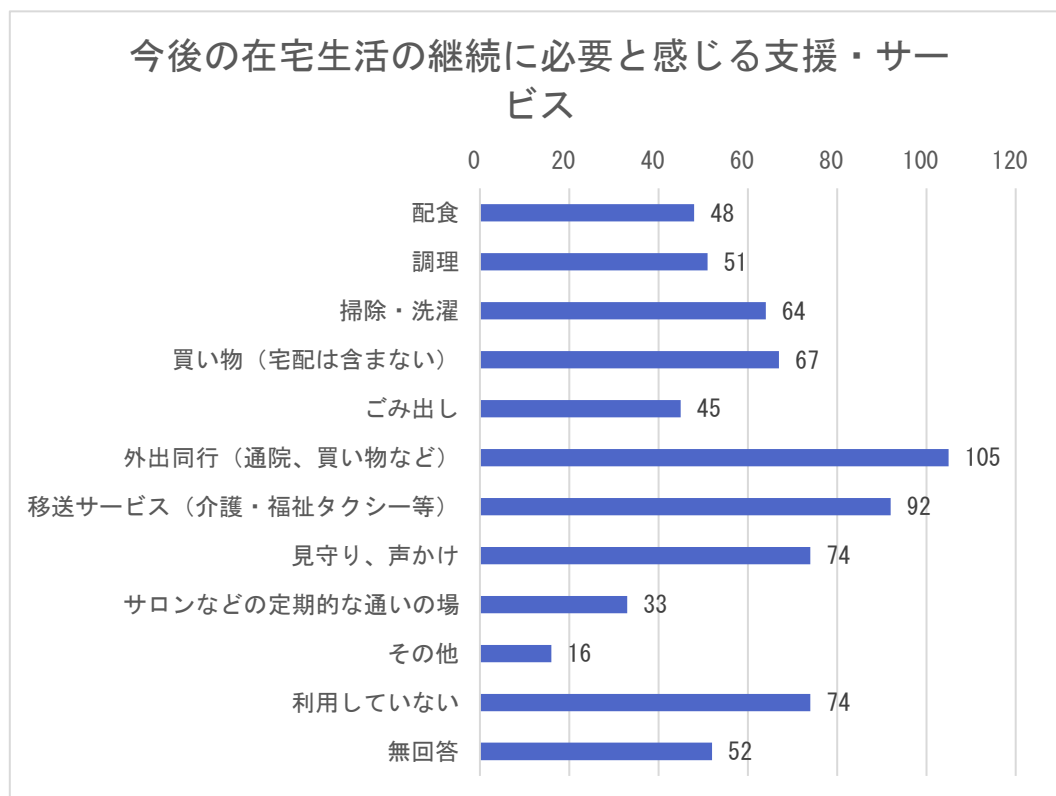
日常生活での不安、悩み、心配ごととして「地震や火災が起きたときの避難が心配である」は20.4%です。



在宅介護実態調査より

問 9. 日常生活での不安、悩み、心配ごとがありますか。それはどのようなことですか。(主なもの3つまで○)

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、“ひとり暮らし”で「見守り、声かけ」が32.1%と高くなっています。



8期 施策体系への反映について

身近に手助けしてくれる人がいない方や、ひとり暮らしの方をサポートするため、地域で連携した見守り体制を引き続き推進します。

成年後見制度の認知度が低いため、この制度を必要とする高齢者に対して制度の周知や手続きの支援を引き続き推進します。

近年頻発している災害に備え、避難時の要支援者の把握や福祉避難所などの整理を引き続き推進します。

【基本施策3】安心した在宅生活の支援

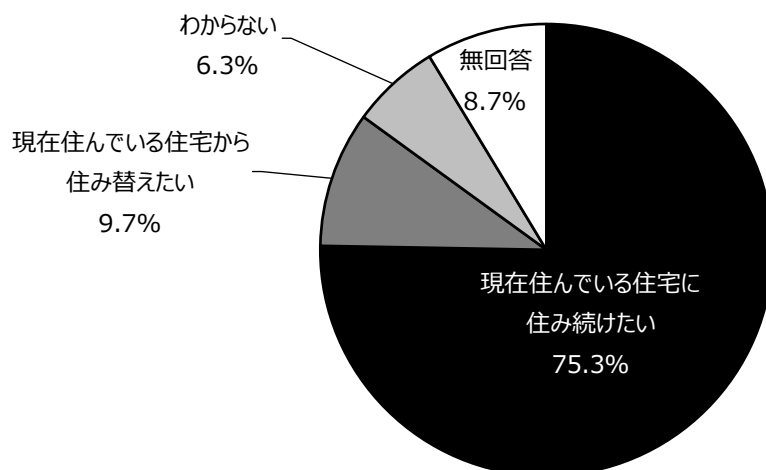
事業方針		概要
(1)	在宅福祉サービスの充実	①栄養改善や見守りを目的とした配食サービス ②高齢者日常生活用具給付貸与事業 ③緊急通報装置貸与事業 ④紙おむつ給付事業
(2)	家族介護者への支援	①家族介護支援事業 ②家族介護教室の推進 ③認知症家族交流会の推進
(3)	高齢者の居住安定に向けた取組みの推進	①養護老人ホームへの措置 ②民間賃貸住宅等を利用した居住支援 ③市営住宅のバリアフリー化 ④多様な住まいの推進

関連するアンケート項目

ニーズ調査より

問25. あなたは今後も現在お住まいの住宅に住み続けたいとお考えですか。(ひとつだけ○)

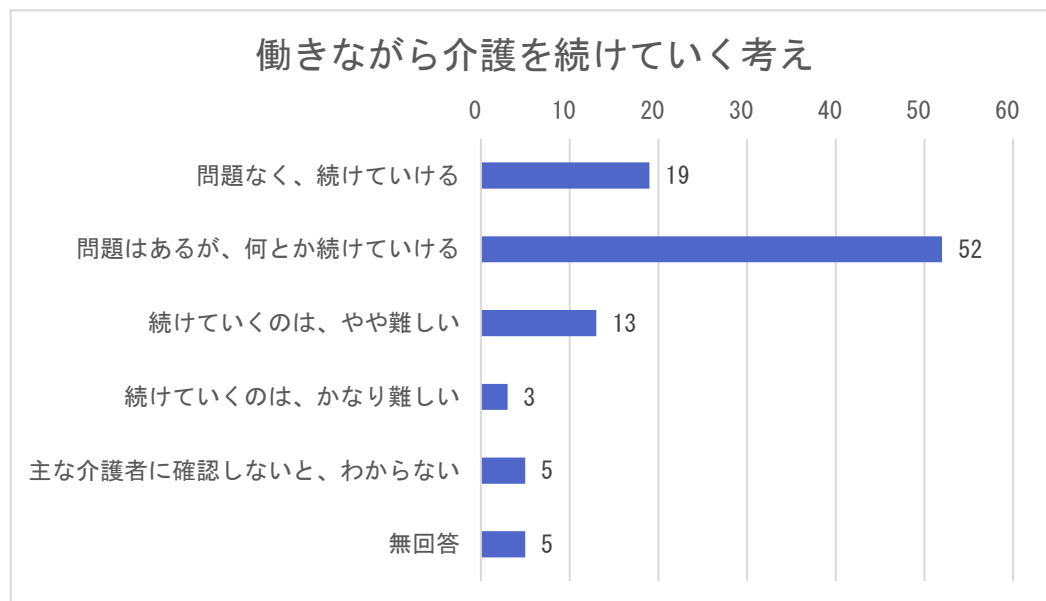
現在住んでいる住宅から住み替えを希望している割合は9.7%で、その中で希望する住宅の形態は「持ち家」42.5%、「ケア付き住宅（有料老人ホーム含む）」9.6%、「民間賃貸住宅」5.4%となっています。



在宅介護実態調査より

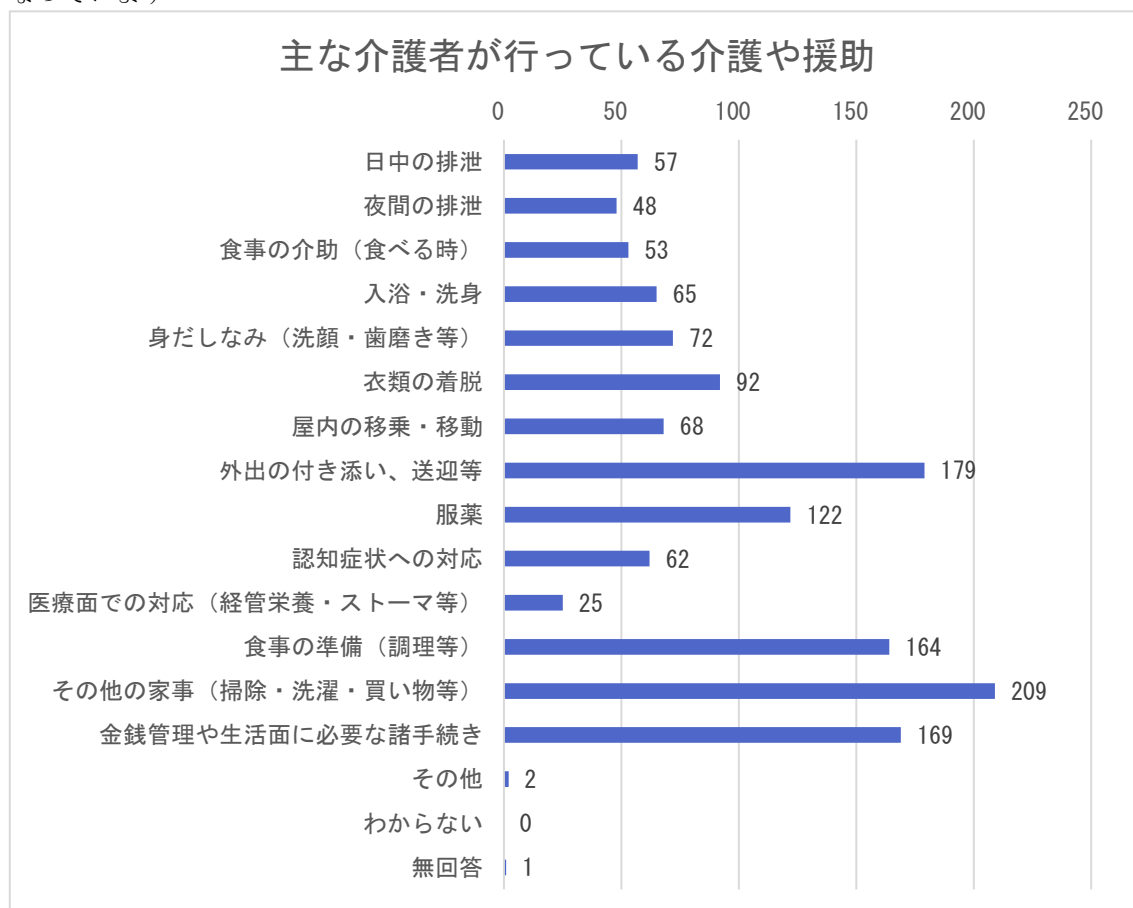
問 20. 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(ひとつだけ○)

働きながら介護を続けていく考えは『続けていくのは難しい』が 16.5%と一定数見られます。



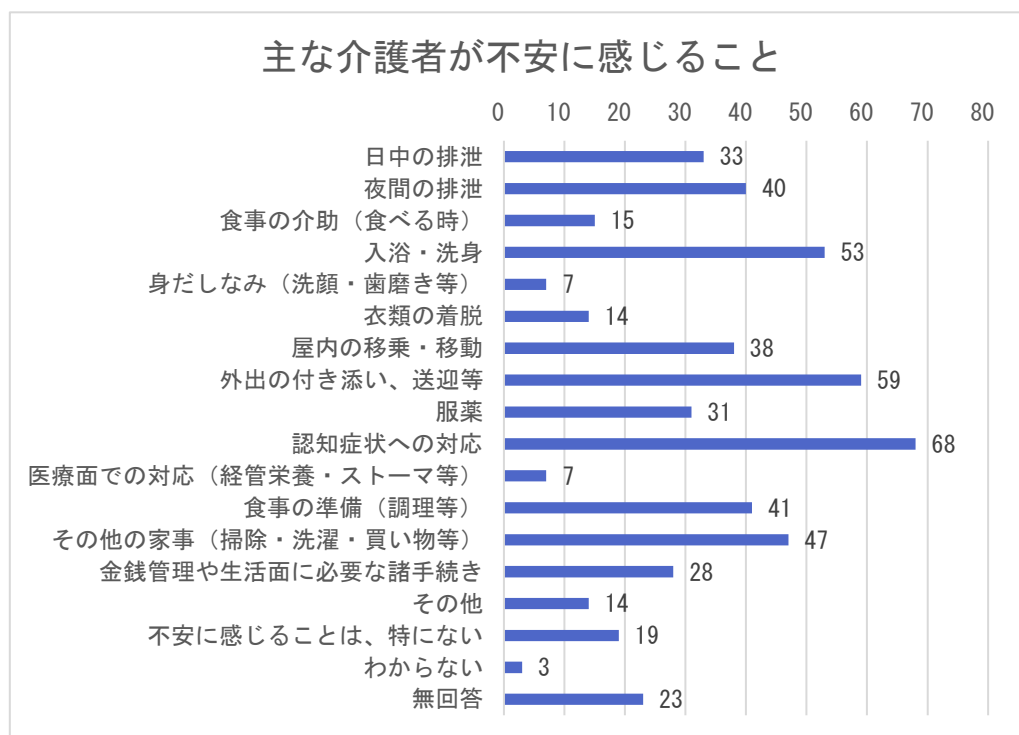
問 6. 主な介護者の方が行っている介護や援助は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者が行っている介護や援助は「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が 87.4%、「外出の付き添い、送迎等」が 74.9%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 70.7%、「食事の準備（調理等）」が 68.6%と高くなっています



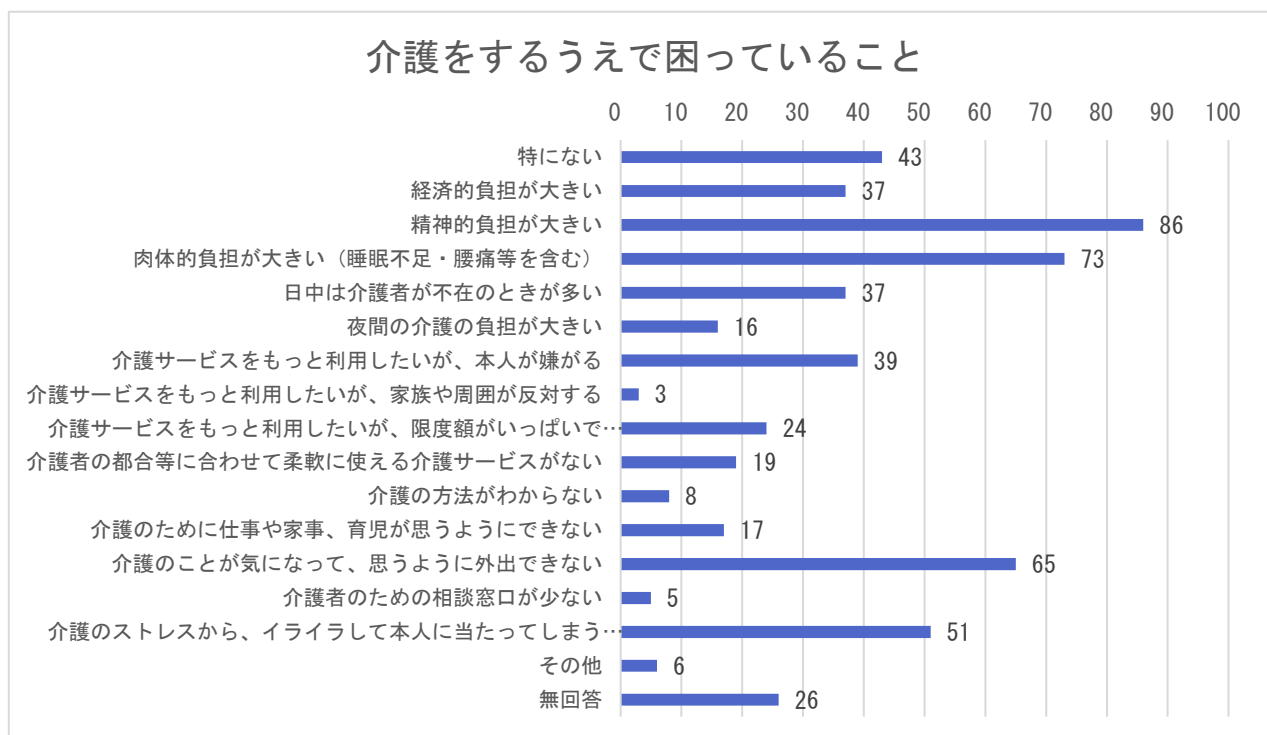
問 21. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現在、介護等を行っているか否かは問いません）。（主なもの3つまで○）

主な介護者が不安に感じる介護は、「認知症状への対応」が 28.5%、「外出の付き添い、送迎等」が 24.7%、「入浴・洗身」が 22.2%と高くなっています。



問 22. 介護をするうえで、困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

主な介護者が介護をするうえで困っていることは、「精神的負担が大きい」が 36.0%、「肉体的負担が大きい（睡眠不足・腰痛等を含む）」が 30.5%、「介護のことが気になって、思うように外出できない」が 27.2%と高くなっています。



8期 施策体系への反映について

「介護するうえで困っていること」では「精神的不安が大きい」が36%と大きく占めています。

働きながら介護に取り組む家族や、今後の仕事と介護の両立への不安や悩みを持つ就業者に対する相談支援やレスパイト対策など、介護者の負担軽減に向けた取組を引き続き推進します。

また、高齢者の居住希望などのニーズなどを踏まえ、事業者による多様な住まいの整備が計画的に進むよう推進します。

基本方針３：充実したさまざまな介護サービスが継続して利用できるように ～ 介護保険サービスの充実と事業の適正な運営 ～

【基本施策１】介護保険サービスの充実

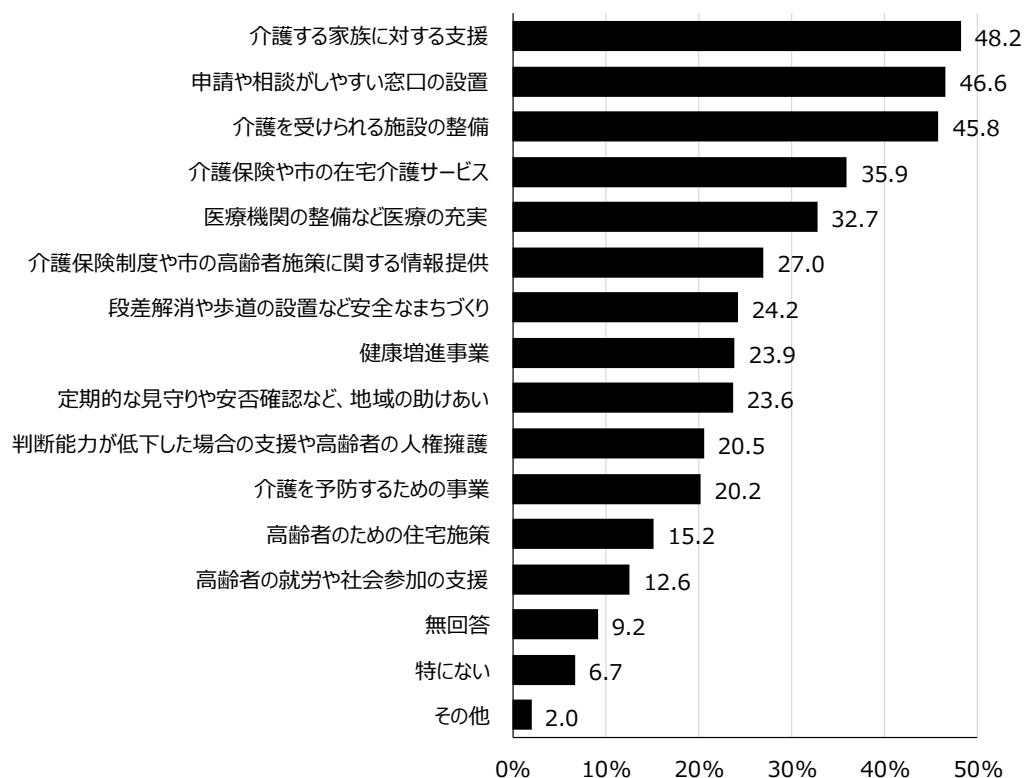
事業方針		事業概要
(１)	居宅サービスの充実	①居宅サービスの充実
(２)	地域密着型サービスの充実	①地域密着型サービスの充実
(３)	施設・居住系サービスの充実	①介護保険施設の充実 ②居住系サービスの充実 ③認知症高齢者グループホーム家賃助成事業

関連するアンケート項目

ニーズ調査より

問39. あなたは、木更津市の高齢者福祉施策について、今後充実してほしいと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

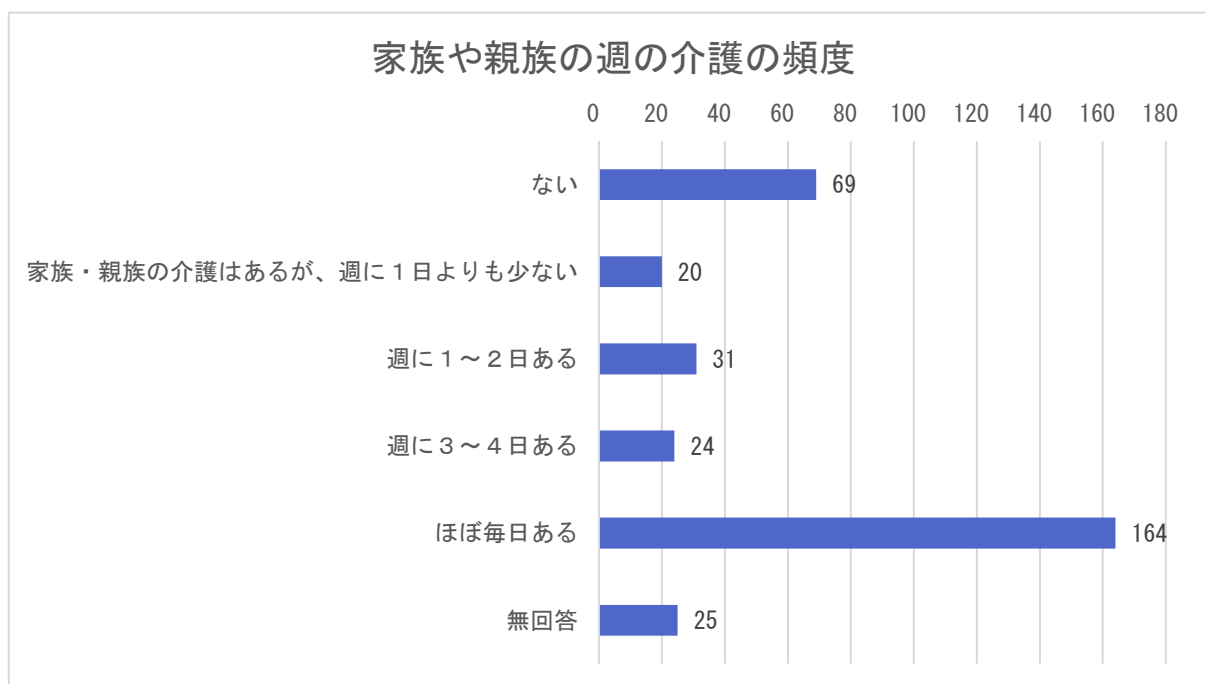
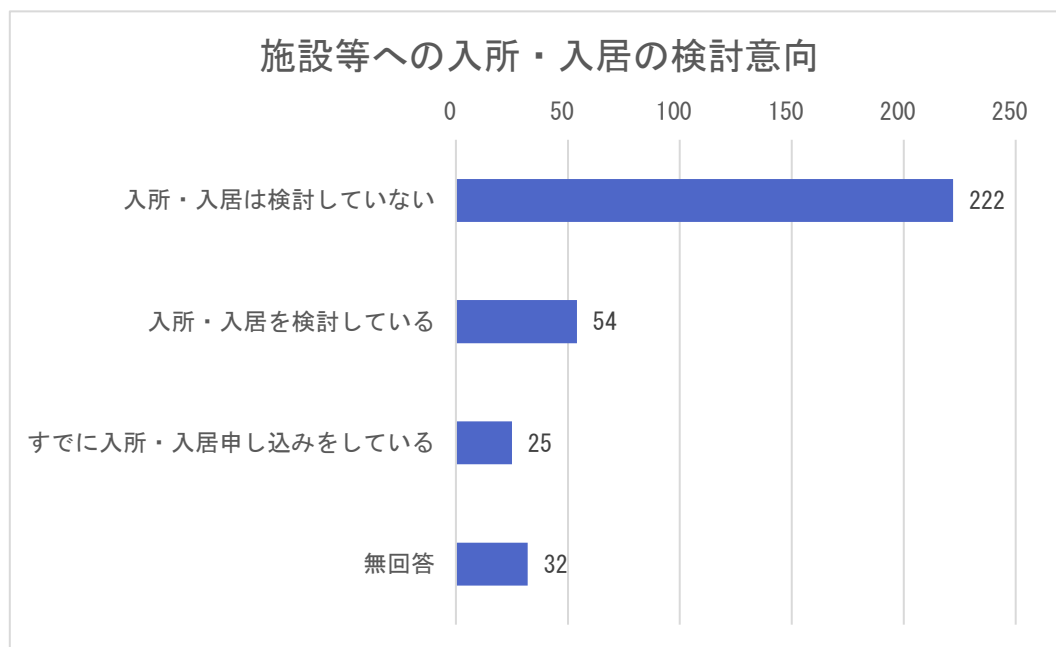
介護を受けられる施設の整備を今後充実してほしいと思う割合は 45.8%です



在宅介護実態調査より

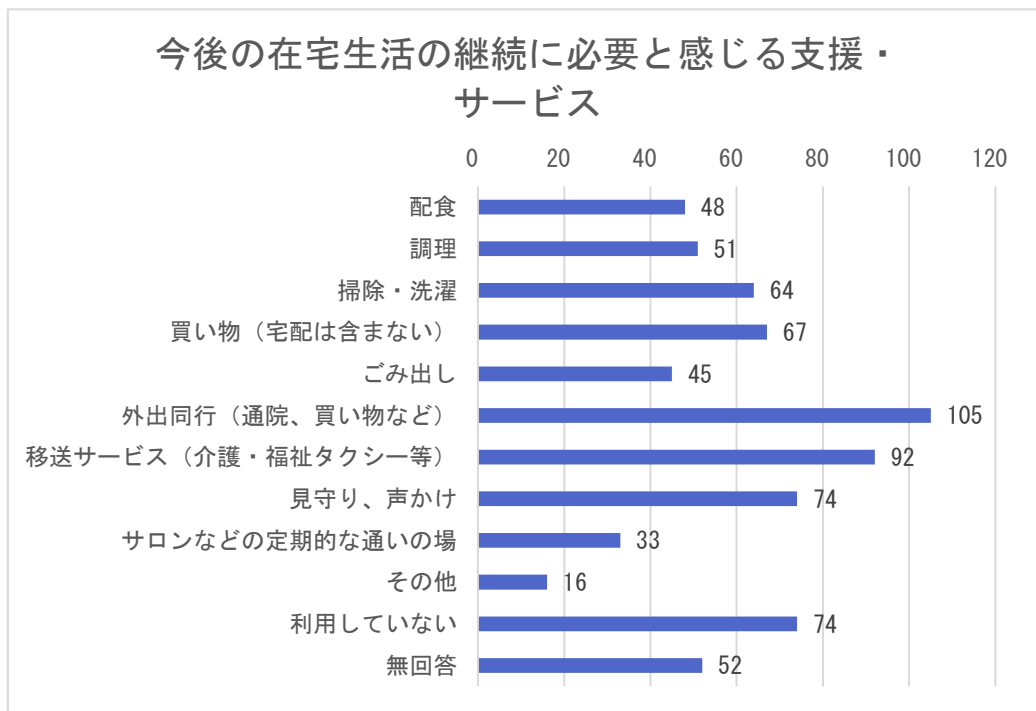
問 10. 現時点で、施設等（※）への入所・入居を検討していますか。（ひとつだけ○）

現時点での施設等への入所・入居の検討意向は、全体で 16.2%となっていますが、家族の介護頻度が“週 1 日より少ない”場合 30.0%、“週 1～2 日”の場合 29.0%となっています。介護が必要だが支援を受けられない方の入所検討の割合が高くなっています。



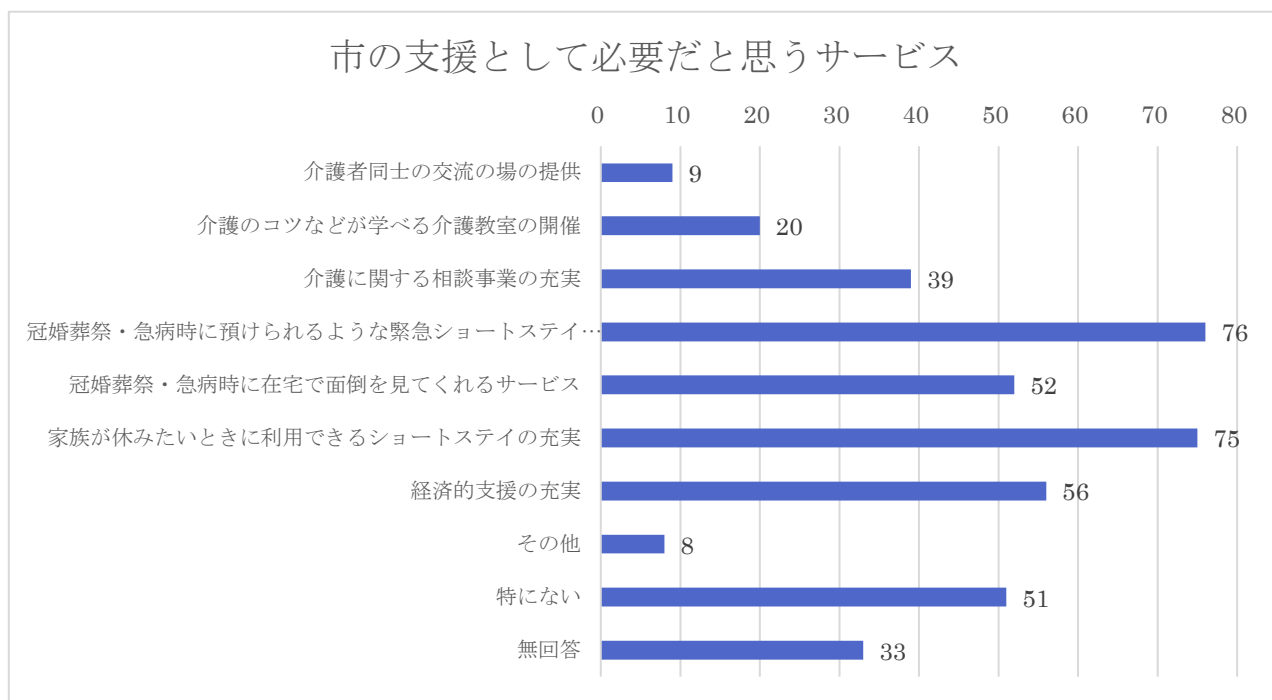
問 9. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用していて、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む（※））は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、家族の介護頻度が“週1日より少ない”また“週1～2日”の場合、「外出同行」や「買い物」、「掃除・洗濯」など、日常生活支援を希望する割合が高くなっています



問 23. 介護をしているご家族に対する市の支援として、どのようなサービスが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

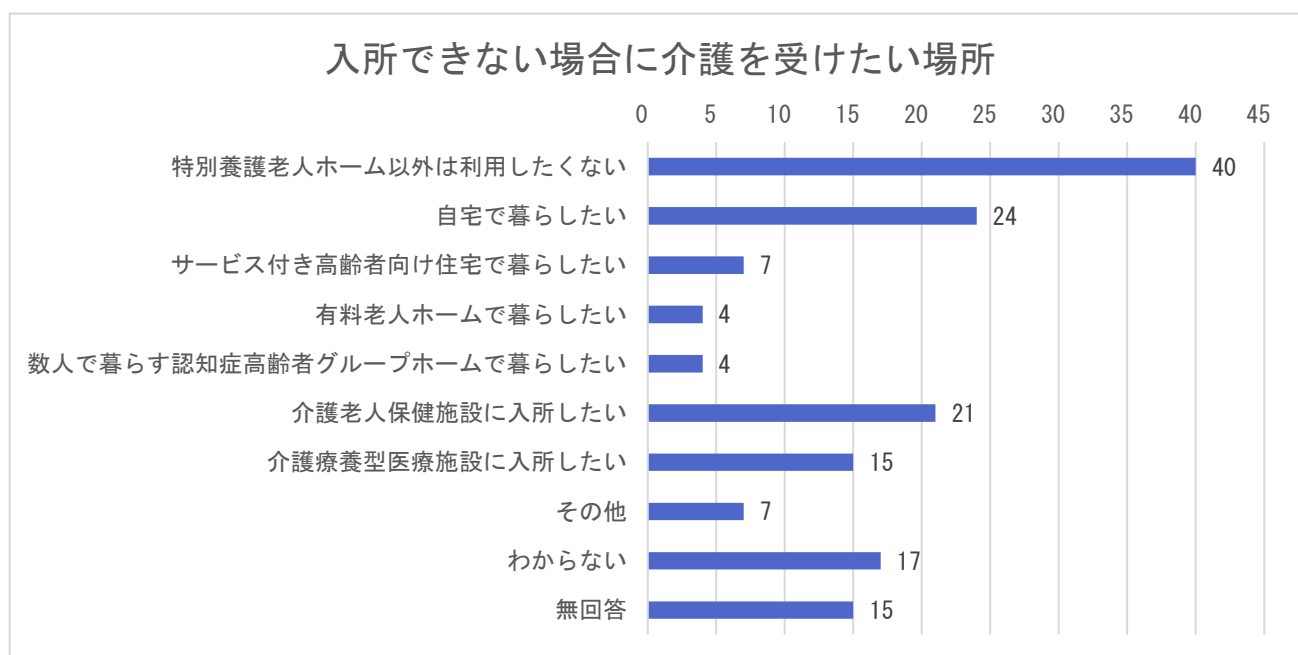
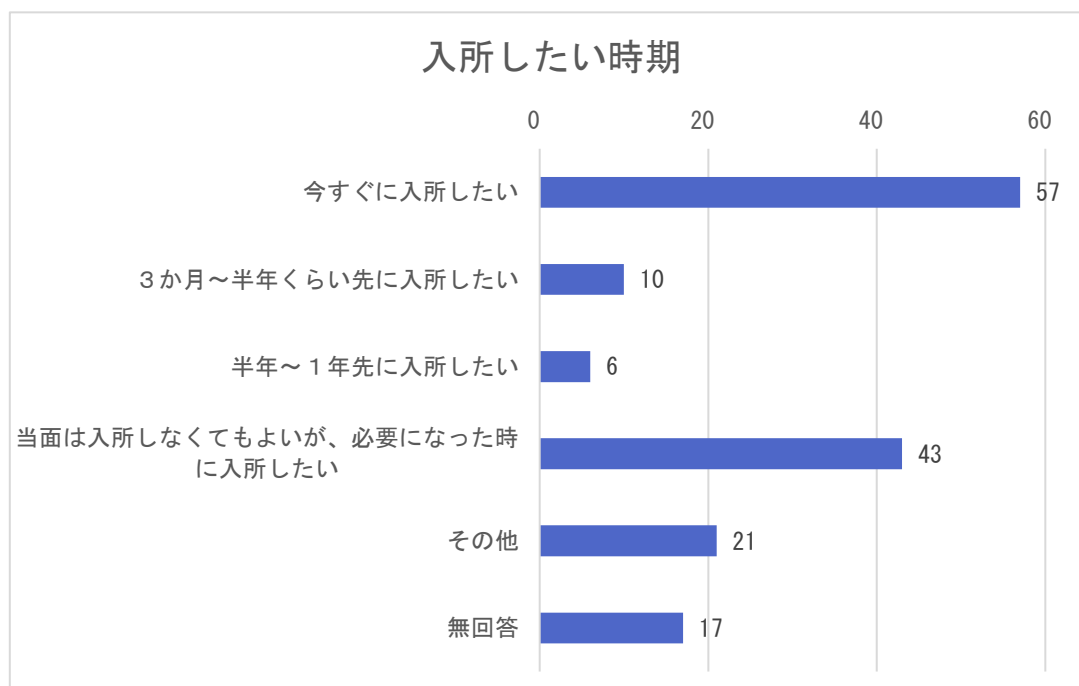
主な介護者が市の支援として必要だと思うサービスは、「冠婚葬祭・急病時に預けられるような緊急ショートステイの充実」が 31.8%、「家族が休みたいときに利用できるショートステイの充実」が 31.4%とショートステイに対する割合が高くなっています。



特養入所希望者調査より

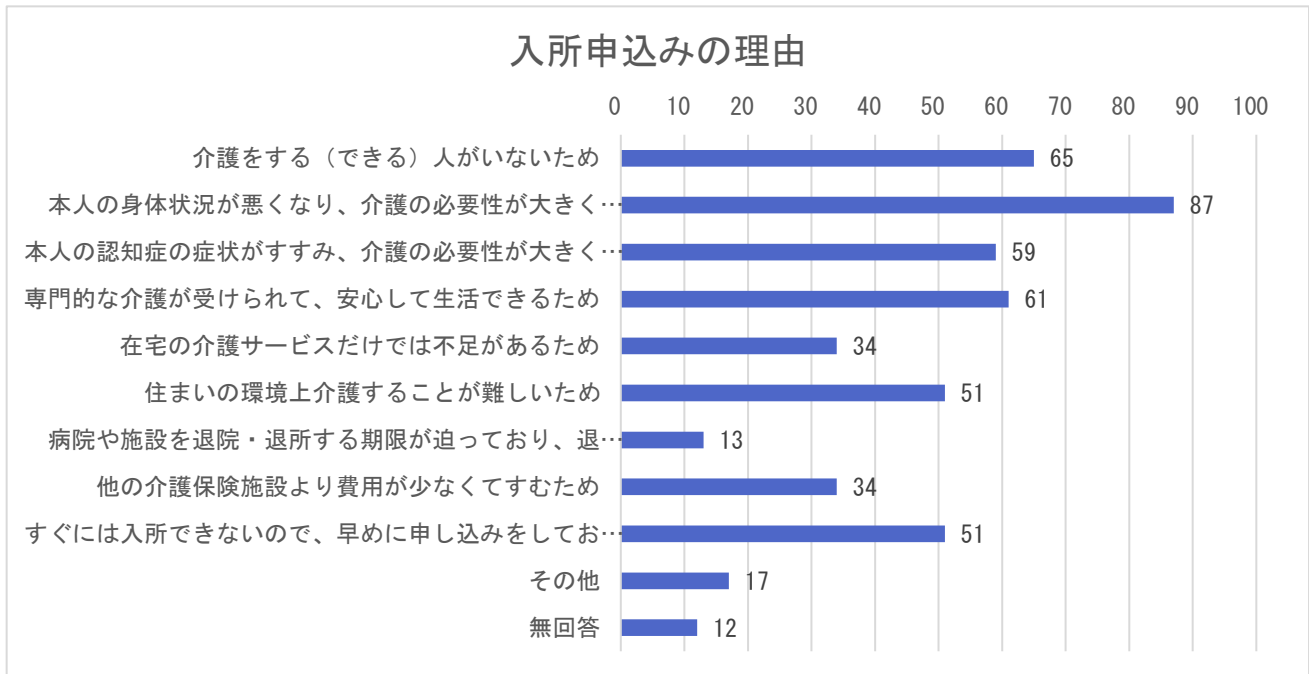
問 10. 特別養護老人ホームに入所したい時期はいつですか。(ひとつだけ○)

特別養護老人ホームに入所したい時期が「今すぐに入所したい」かつ、特別養護老人ホームに入所できない場合に介護を受け(続け)たい場所で「特別養護老人ホーム以外は利用したくない」と答えた方は24名(15.6%)おり、緊急性の高い方が一定数います。



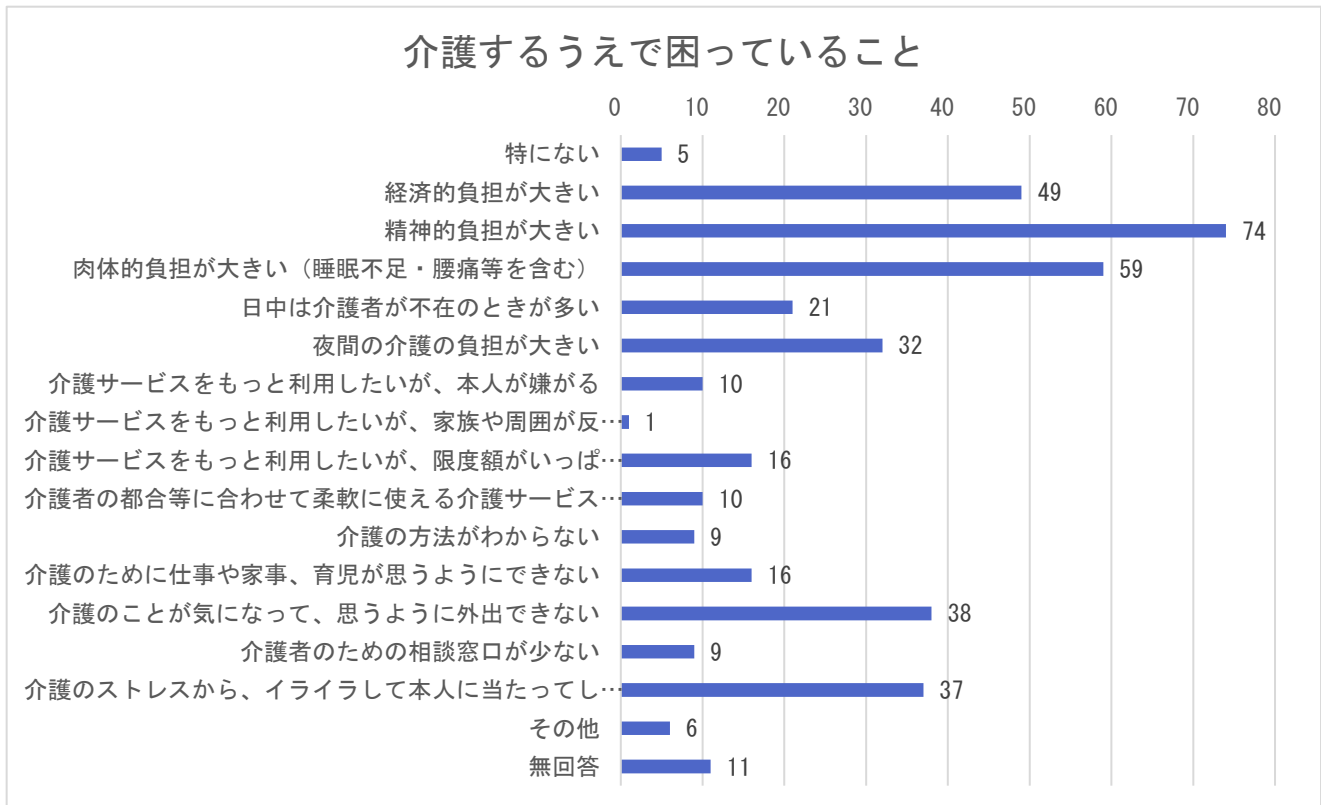
問 13. 特別養護老人ホームへの入所を申し込んだのは、どのような理由からですか。
(あてはまるものすべてに○)

特別養護老人ホームへの入所を申し込んだ理由は「本人の身体状況が悪くなり、介護の必要性が大きくなったため」が 56.5%、「介護をする（できる）人がいないため」が 42.2%と高くなっています。



問 26. 介護をするうえで、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

介護者の介護をするうえで困っていることは「精神的負担が大きい」が 66.7%、「肉体的負担が大きい」が 53.2%、「経済的負担が大きい」が 44.1%と高くなっています。



8期 施策体系への反映について

高齢者ができる限り住み慣れた地域で、また在宅での介護が継続できるよう各種サービスの普及を推進します。

また、特別養護老人ホームなど施設・居住系サービスについては、アンケート結果より「今すぐに入所したい」人が37%だったことを踏まえ、実情に沿った整備計画を策定します。

【基本施策2】介護保険事業の適正な運営、自立支援型ケアマネジメント及び重度化防止の推進

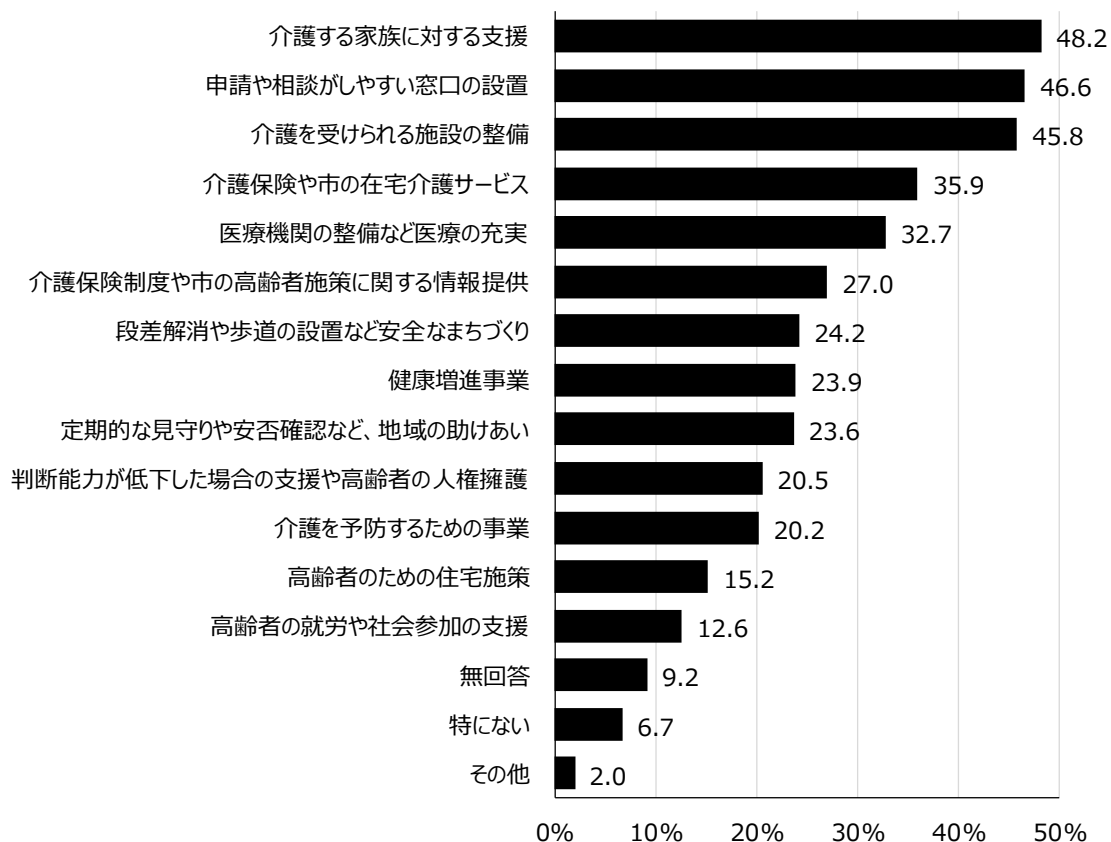
事業方針		事業概要
(1)	介護保険給付の適正化	①介護給付費適正化事業
(2)	介護保険情報の充実	①介護保険制度の趣旨の普及・啓発
(3)	介護人材確保の支援、介護サービスの質の確保・向上	①介護人材の確保・育成 ②介護職員初任者研修費用助成事業 ③地域密着型サービス事業者等への指導等 ④木更津市ケアマネジメント研究会との連携 ⑤介護相談員派遣等事業

関連するアンケート項目

ニーズ調査より

問39. あなたは、木更津市の高齢者福祉施策について、今後充実してほしいと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- ・介護保険や市の在宅介護サービスを今後充実してほしいと思う割合は 35.9%です
- ・介護保険制度や市の高齢者施策に関する情報提供を今後充実してほしいと思う割合は 27.0%です。



8期 施策体系への反映について

必要な給付を適切に給付するなど介護給付の適正化を図ります。介護度が軽度の方については、総合事業や保険外の支援・サービスの積極的な利用促進を図り、資格を有する訪問介護員等については中重度の方へのサービス提供に重点化を図るようなプロとセミプロといった人材をうまく組み合わせ活用できるよう推進します。

介護人材の不足を防ぐため、引き続き確保・育成といった事業を推進します。